

【定性分析結果の詳細】

分析実施日	平成30年3月1日
分析者	石川 輝之

注記 JIS A 1481-1 は、市販製品中のアスベストの定性的分析に言及している。

この手法においては、分散染色と併用した偏光顕微鏡検査がアスベスト同定の既定手順である。

含有率約 5%未満の範囲におけるアスベストの含有率の正確な定量がアスベスト含有建材の法規制上の位置付け決定のために必要である場合は、JIS A 1481 規格群の別のパートを利用する。

分析結果

試料	アスベスト	推定アスベスト含有率 (%)
吹付けタイル ピンク色塗材、白色非繊維状材 料、白色半透明繊維状材料、紙 材	無検出	—————

注記 1 推定アスベスト含有率は次の 5 区分で示す。

なお、この区分は概数であって、結果を説明する場合の目安として記載したものであり、特に③～⑤の含有率の範囲は、定量分析を行った結果、必ずその範囲に入ることを保証するものではない。

- ①無検出
- ②検出
- ③0.1%～5%
- ④5%～50%
- ⑤50%～100%

注記 2 報告区分”検出”は、分析中に繊維が 1 本又は 2 本だけ検出された場合、この観察は試料の意図しない汚染の結果であったおそれもあるため、結果報告の手段として設けられたものである。

注記 3 ”アスベスト含有”の場合、観察されたアスベスト繊維の代表的な写真を次頁に示す。

注記 4 使用した偏光顕微鏡：ニコン ECLIPSE LV100N

前処理法	灰化处理、酸処理
非アスベスト繊維	セルロース
コメント	特になし。